



## 防災情報の収集手段

防災行政無線を使って、災害発生時に避難情報等を発信しています。メールマガジン・テレビ神奈川データ放送・Twitterでも同じ内容を確認できます。放送した内容を電話で確認できるサービスもありますので、ぜひ活用してください。

## 【フリーダイヤルの番号】

『0120-856-050』に電話をすると、過去20回分の放送内容を確認できます。(24時間経過した内容は削除されます。) ※必ず「0120」から発信してください。

## 【テレビ神奈川データ放送の見かた】

- (1) TVKのチャンネルに合わせて、リモコンの「d」ボタンを押す。
- (2) 緑色のボタンを押し、「箱根町」を選択。
- (3) 「防災安全情報」を選択して確認できます。

## 【メールマガジンの登録方法】

バーコードリーダー機能付き携帯電話・スマートフォンの方は右記2次元コードから登録してください。



それ以外の方は次のメールマガジン登録フォームから登録を行ってください。

<https://reg23.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=sb-rar-986b3ecd840f0d741e3b47a60f65bc15>

## 【箱根町公式LINEの登録方法】

LINEアプリの友だち追加から2次元コードをスキャンすると、箱根町を友だちに追加できます。



※トーク画面のリッチメニューから防災情報にアクセスできます。

## 令和3年度 箱根町 総合防災訓練の 中止について



9月2日(木)に仙石原浄水センターで開催を予定していた箱根町総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症の発生リスクを抑えるため、中止となりました。

各地域で行われる地域分散型訓練の実施の有無については、お住いの自治会に確認してください。

なお、自然災害が相次いで発生していることから、各家庭でも避難行動の確認や非常持ち出し品の準備など、日ごろからできる備えをしましょう。

## 芦ノ湖の水位管理に関する調整状況について

令和元年台風19号による浸水害を受け、町議会からの意見書提出に合わせ、町は山口町長(当時)から黒岩県知事に対し、芦ノ湖の水位管理に関する要望書を手交しました。その後、町と神奈川県と芦湖水利組合(静岡県裾野市に事務局)の間で改善策を協議中ですので、その状況についてお知らせします。

## ①要望書の内容(概要)

- ・平素の水位の検討
- ・事前放流のあり方の検討

## ②要望の具体化

町は湖面利用者や早川流域居住者などと意見交換し、要望内容を次のように具体化しました。

- ・平素の水位を1.6~1.9mで安定して管理(常時少量放流)
- ・台風以外の異常気象を踏まえ早期に十分な放流を行い、大雨時は放流を停止して早川の増水を抑制

## ③連絡会議の開催

神奈川県側から神奈川県と箱根町、静岡県側から静岡

県と裾野市が集まり、浸水被害対策について次のように協議を行っています。

・令和2年10月22日の1回目の会議では今後の対応策について多くのアイデアが双方から提示されました。いずれの方法にも有効性はあると思われ、それぞれが持ち帰って検討することになりました。

・令和3年3月30日の2回目の会議では、1回目に出された対応策について議論を深めるとともに、芦湖水利組合の持つ水利権が5 m/sの取水であることが確認され、特定外来生物の流下防止策の必要性が議論されました。また神奈川県から、令和2年5月の湖尻水門操作方法見直し後の事前放流状況について説明がありました。

芦ノ湖から早川に繋がる水系は箱根の美しい自然として大切に守っていく必要があり、町は、芦ノ湖の水位を現在より低い高さで弾力的に運用していただくことを強く働きかけ、町民の生命や財産を守りつつ観光資源として発展させていこうと考えています。



## 「はこね防災マップ」改訂

8月に新しい「はこね防災マップ」を各世帯に配布しました。

マップには、土石流やがけ崩れの被害が想定される箇所を示した土砂災害警戒区域や、河川の洪水による浸水の度合いを示した浸水想定区域が表示されています。避難所・避難場所の位置も載っていますので、普段から危険箇所や避難経路の確認をしておきましょう。

マップは、地域別で8種類作成しています。総務防災課および各出張所で配布するほか、町のホームページでも確認できます。

詳しくは総務防災課防災対策室(☎85-9562)にお問い合わせください。

## ◆ハザードマップ一覧

NO.	掲載箇所	名称
1	表	湯本A(山崎・神明町・旭町・仲町・滝通り地区)
	裏	湯本B(湯場・滝通り・塔之澤・湯本茶屋地区)
2	表	湯本茶屋・須雲川地区
	裏	須雲川・畑宿地区
3	表	大平台地区
	裏	宮ノ下・小涌谷・ニノ平地区
4	表	宮城野(うすい・さくら・あずま)・強羅・ニノ平地区
	裏	強羅・ニノ平地区
5	表	仙石原A(下向・川向・大涌谷下湯地区)
	裏	仙石原B(上向・中筋・大原・高原地区)
6	表	仙石原B(上向・中筋・大原・高原地区)
	裏	仙石原C(高原・イタリ・温泉荘・湖尻地区)
7	表	元箱根富士見・元箱根神戸地区
	裏	元箱根大芝・駒ヶ岳・芦之湯地区
8	表	箱根西区・箱根東区地区
	裏	元箱根富士見・元箱根神戸地区



## 家の中の安全対策をしましょう

地震が発生した時には、家にある冷蔵庫やテレビなどが転倒・落下して怪我をしまったり、逃げ道が塞がれてしまったり、電気機器によって火災が発生してしまったりする可能性があります。事前に対策を講じて、身の安全を確保しましょう。

- (1) 家具の転倒を防ぐため、金具や固定器具を使って固定しましょう。固定が難しい場合、家具と壁や柱の間に隙間があると倒れやすいため、家具の下に小さな板などを挟み、壁や柱に寄りかかるようにすると転倒しにくくなります。
- (2) 安全に避難をおこなえるように、出入口や通路になるべく物を置かないようにしましょう。ドアの前に倒れてしまうような物を置いてしまうと、いざという時にドアが塞がれて、出られなくなる可能性もあります。
- (3) 地震の時に起こる火災は電気機器の転倒や通電火災が原因であることが多いため、設定した震度以上の地震が発生した場合に自動的に電気の供給を遮断できる感震ブレーカー等を設置して対策をしましょう。